

東日本大震災 久里浜医療支援こころのケアチーム 第6班報告

平成23年4月27日

中山秀紀 齊藤みどり 岩本亜希子 大塚絢也

第6班 概要

* 派遣期間

平成23年4月13日～18日

* 派遣場所

岩手県大船渡市(大船渡地区・末崎地区を担当)

* メンバー

中山秀紀(医師)

斉藤みどり(看護師)

岩本亜希子(PSW)

大塚絢也(事務調整員)



第6班 主な活動内容

- * 避難所等でのこころのケア巡回相談
- * ミーティング、電話等での保健師、他医療チームとの情報交換
- * 保健師からの紹介によって、避難所・個人宅でこころのケアを必要とする方への診察・処置・処方など
- * 末崎中学校での心の健康相談

第6班 日程

4月13日

久里浜出発(5:15)→合同庁舎にて第5班と合流(14:00)
→大船渡地区の避難所→市役所でのミーティング(16:45)

* 4月14日

合同庁舎で朝のミーティング(8:30)→末崎地区の避難所・
第5班から引き継ぎ→大船渡地区の避難所→市役所での
ミーティング

* 4月15日

末崎地区の避難所→大船渡地区の避難所→大船渡病院での情報
交換→市役所でのミーティング

* 4月16日

末崎地区の避難所→個人宅訪問→大船渡地区の避難所→市役所
でのミーティング

* 4月17日

個人宅訪問→大船渡地区避難所→末崎地区避難所・心の健康相談(第7
班と合流)→市役所でのミーティング

* 4月18日

合同庁舎→大船渡地区避難所→帰路につく

大船渡市街の様子①

大船渡市街



大きな船が市街地の奥まで流されてきていました。津波の力の大きさを思い知らされました。

がれきの山



人の背丈をこえるほどの高さのがれきの山が市街地を覆っていました。

大船渡市街の様子②

大船渡市街



大船渡市街全景



一部がれきが片付けられている場所
もありました。

大船渡市街の様子③

仮設住宅



仮設住宅の建設が、だいぶすすんでいるところもありました。

加茂神社の桜



桜が咲きつつあります。朝夕はまだ寒いのですが、昼間は大分暖かい日が続いておりました。

その他

東海新報4月17日版

避難所のごみ



地元の新聞に当院こころのケアチームの活動がとりあげられました。

避難所で飲酒をしている方もいるようです。過度な飲酒による複雑酩酊（酒乱）や依存症への発展などが懸念されます。

大船渡市の状況

- * 電気は通じているところが多かったが、水道や固定電話はまだ復旧されていなかった。
- * がれき撤去は市街地の一部では進みつつあった。
- * 大船渡病院は他地域からの受け入れなどがあり、飽和状態とのこと。一般開業医や薬局・デイサービスなどは復旧しつつある段階。
- * 仮設住宅の建設がすすんでいた。
- * 避難所の方々も仮設住宅の申し込みや就労など今後の生活再建にむけた動きが出てきている。

今後の課題

- * 避難所での避難生活が長期化することによって、プライバシーが守られにくいことや、人間関係の悪化やなどでストレスをかかえる方が多くなってきている印象にあった。
- * 直接被災していない個人宅で生活している方も、津波により直接的、間接的な被害を受けており、心のケアを必要としている方が多い印象にあった。
- * 男性の相談者は少なかったが、男性は自分の精神的な不調や悩みを表出されない方が多いのではないかと考えられた。
- * 地元の保健師の身体的・精神的疲労もかなり大きい印象。地元の援助者への支援の必要性も考えられた。
- * 復興とともに、長期的には心のケアの需要は増大していくのではないかと考えられた。

大船渡中学校 「黒潮魂」

